令和6年度

学校要覧



北海道網走養護学校



シマエナガ:冬

〒099-2421 網走市字呼人 149 番地 2

TEL 0152 - 48 - 2137(事務室)

48 - 2235(職員室)

48 - 2552(寄宿舎)

FAX 0152 - 48 - 2137

ホームページ http://www.abashiriyougo.hokkaido-c.ed.jp

メールアドレス abashiriyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

章 校



校章の由来

恵まれた自然の中に、あたらしい期待と願望のうちに開校された網走養護学校を象徴す るものとして、つぎのような意図のもとに校章を図案化した。

中心の円は、学校をとりまく網走湖を表わし、また、教育の営みが調和的な人間発達を めざすという意味がこめられている。

円の上部の三角形は網走湖に突き出した呼人半島、そして、教育を受けた子どもたちが 世の中に巣立っていく姿を表わし、上部の左右の線はそのはばたきである。

円の横、左右に分かれた2本の線は川を意味し、下部の切れ目は、湖水が網走川をへて オホーツクの海へと流れだしていく意をもつとともに、障害のある子どもたちが、自らを 閉ざすことなく、豊かな自然と地域の人たちと交わり、それらの愛情によってはぐくまれ ることをも表わしているのである。

昭和49年5月31日 制定

三、

構想・デザイン 竹田洋一

胸

光

をも

Z

め

は

る

かな

道

を

立ぼ

お

そびえ ぼくや 雪と た 望 光 んでるん か 氷 な わ 7 が N たし 明 る 1 だ 日 る V は が Z るかなど は 1) 0 げ 手と手をむ \mathcal{O} うに ť Z V な 道を んだ つに \mathcal{O} つ 山 7 ょ び 7

校五周年を記念して校歌に開校讃歌「はるかな道を」

制を

定開

よび ぼく 鳥 \mathcal{U} 負 光 Ĭ をう 1+ 2 きあ な ゃ か 森 け わ 1+ $\langle \ \rangle$ が たし j 6 7 だ () V 心とか はるか る が Z 強 つ なだら \mathcal{O} 12 11 b とつに 6 な な 道 だ だ つ か 7 なっ な 丘

空と海 ちあ < しよせ つ ゃ がるんだ ば わ が たし てくる () 12 \mathcal{U} Z つ 未 来をやどし あゆ みど 12 ひとつになっ な むんだ 1) \bigcirc 7 野 原

7

作作 曲詞 塚 太田田 克 清

校

沿革の概要

- 昭和49年 4月 北海道網走養護学校開校
 - 5月 開校式及び落成式挙行
 - 50年11月 第13回北肢研網走大会
 - 52年10月 避難道、遊歩道完成
 - 53年11月 開校5周年記念式典挙行
 - 58年11月 開校10周年記念式典挙行
- 平成 2年12月 水泳プール及び上屋新築竣工
 - 5年 4月 高等部開設
 - 11月 第30回北肢研網走大会

開校20周年·高等部開設記念式典挙行

体力作り優良校受賞

- 7年10月 高等部校舎・寄宿舎落成記念式典挙行
 - 授業研究会 · 講演会開催
 - 2月 網走管内教育実践表彰受賞
 - 2月 平成8年度北海道教育実践表彰受賞
- 10年 4月 高等部訪問教育学級設置
- 14年11月 第39回北肢研網走大会
- 15年 4月 養護学校における医療的ケアに関するモデル事業実践研究校指定(16年3月まで)
 - 11月 開校30周年記念式典挙行
- 17年 1月 第1回網走地区特別支援教育連絡協議会
- 18年 9月 第4回全道盲・聾・養護学校おやじサミット IN 網走(北海道中標津高等養護学校と合同主催)
 - 11月 平成18年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞
- 19年 1月 吉田教育長学校視察
- 25年 6~10月 開校40周年記念事業挙行
- 25年 7月 立川教育長学校視察
- 26年 1月 第50回北肢研網走大会
- 26年 7月 第10回全道特別支援学校おやじサミット in オホーツク開催

(主催・オホーツク管内の特別支援学校)

- 令和 5年 1月 第59回北肢研網走大会
 - 12月 開校50周年記念式典挙行



校舎外観

【学校目標】 【校訓】 法令法規 北海道の目指す姿 「明るく」「元気に」「呼人で学ぶ」 地域で自分らしく生きる人を育てる オホーツクの目指す姿 学習指導要領 【目指す学校像】 【目指す児童生徒像】 【目指す教職員像】 ・児童生徒が生き生きと学び、確かな力が┃・持てる力を高め、自立を目指す児童生徒 ・児童生徒、保護者、地域社会から信頼される教職 元気で粘り強い児童生徒 ・職員一人一人が専門性にあふれ力を発揮┃・心豊かで仲良く明るい児童生徒 ・明るく健康で、責任と実践を大切にする教職員 ・意欲にあふれ積極的に学ぶ児童生徒 ・お互いを理解し教育の専門性を高めあう教職員 する学校 ・保護者や地域に信頼される学校 育成を目指す資質・能力 知識•技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性 小学部 ・日常生活動作の獲得と基本的生活習慣┃・様々なことに興味を持ち体験や経験を┃・自他の区別が付き、身近な人や友達と友好 的 にかかわろうとする。 (基礎) を身につける。 重ねて、感じたことを表現したり伝え たりできる。 中学部 ・ 実 生 活 で 役 立 つ 各 教 科 等 の 基 礎 的 ・ 基 ┃・ 今 ま で の 体 験 や 経 験 か ら 判 断 し 、 状 況 ┃・ 自 ら の 学 習 課 題 が 分 か り 、 主 体 的 に 取 り 組 ん (発展) 本的な知識・技能を身につける。 に応じた行動がとれる。 だり、友達と協力したりして活動する。 高等部 ・働くために必要な体力や生活習慣を身・約束やルール、社会のきまりが分かり、 ・お互いの考えや感情を大切ににし、自分の 役 に付けるとともに、実生活に必要な各 場所や状況に応じた行動がとれる。 割や役目に応じて主体的に行動する。 (応用) 教科等の知識技能を身につける。 【児童生徒の実態】 【令和6年度 重点教育目標】 【令和6年度の課題】 障がいの多様化 各学部、寄宿舎の特色を生かし、地域と学校が連携・協働 学びの連続性 し、学びに向かう意欲・関心・学習習慣を育む教育の充実を 児童生徒の状態に応じた 情報発信 教育課程の複線化 図る。 時間外勤務削減 食育の指導 【令和6年度 重点経営目標】 人権を尊重した指導 働き方改革を自分ごととしてとらえ、各学部・寄宿舎単位で 工夫をし、働き方を見直していく。 令和6年度のキーワード 児童生徒がいきいきと学ぶ 教職員がやりがいを持つ 学校・保護者・地域が共に育つ 一人一人が尊重され、安心して学び、 ・ 教 務 、 舎 務 、 事 務 が 相 互 の 状 況 を 理 解 し ┃・ コ ミ ュ ニ テ ィ ス ク ー ル の 計 画 的 な 実 施 、 地 域 と 連 携•協働 生活できる学校、寄宿舎 た報連相の充実 •「できた」「わかった」「またやりたい」 ・心理的安全性のある職場の雰囲気つくり 保護者とのパートナーシップ 「伝わった」と思える授業 ・ 積極的な関係機関との連携、関係機関を交えた支援 ・教職員一人一人が自己の役割を自覚し、 ・肢体不自由、知的障がい、自閉症に応 互いに支えあう組織づくり、ウェルビー 会議の充実 じた自立活動の充実 イングな職員室 ・進路指導の充実(情報提供、指導への反映、キャリ ・ICT教育に関する研修と教育実践の推 専門性の向上(外部講師、研究、研修等) ア教育) ・働き方の工夫(教育の質を高める業務改 ・ホームページの充実による教育の発信 進 • 地 域 資 源 を 生 か し た 教 育 活 動 、 社 会 貢 ・危機管理マニュアルの点検・見直し・整備 ・センター的機能の発揮による特別支援教育の充実 献を意識した教育活動の工夫 ・児童生徒の人権を尊重した指導 ・安心、安全を基盤としたの学校、寄宿 │ さん付け呼称の徹底、言語環境の整備 ・共生社会の形成、SDGsにつながる教育 舎生活の充実

【研究主題】

・文化的・体育的活動の充実

「チームマネジメントのための網走養護学校版課題解決プロセスの検討」~教師の経験年数に応じた研修を通して~

・重点達成のための実践事項

	項目	実践事項		時期
教育課程	教育課程	・児童生徒の実態に応じた教育課程の編成・実施・検証、PDCAサイクルの見える化	教務	前期、後期
	指導計画	•「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どう指導するか」の視点、学習指導要領に基づく	教務	前期、後期
		学年、学部間の系統性ある年間指導計画	教務	通年
	指導の形態	・一人一人の可能性を育む「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現	教務	6月
	授業改善	・「主体的」「対話的」「深い学び」の実現に向けた授業改善	教務	通年
	個別の指導計画	・自立活動の指導の充実(実態把握、適切な目標設定、指導と評価)	教務	前期・後期
	道徳	・道徳の年間指導計画に基づいた効果的な指導、評価	教務	5月
	学校行事	・地域との連携・協働と働き方を意識した工夫	各分掌	3月
		・地域の参観日(参観する方の精選)、ふれあいまつりブース参加(日常の展示を)	教務・総務	各時期
	交流及び共同学習	・交流及び共同学習の充実、一人一人のニーズに応じた居住地校交流	支援部	各時期
	健康安全	・服薬管理の安全徹底、児童生徒健康状態の情報共有	生活安全部	前期•後期
	食育	・食育の推進(月1回の食育デー)、職員室における栄養教諭の机配置	生活安全部	前期•後期
	ICT活用	・ICTを利活用した学びの充実(各学部)、ICT研修の推進	情報教育部	通年
	各教科	・パラスポーツ(ボッチャ等)の推進(小中高)	各学部	通年
児童生徒指導	児童生徒指導	・いじめ事案における組織的な対応	生活安全部	通年
		・ 主体的な児童生徒会活動の積極的推進	生活安全部	通年
	進路指導	・進路に関する情報の積極的発信、研修の推進	支援部	通年
進路指導	キャリア教育	・各学部コーディネーターによる各学部の進路指導、校内支援の推進	支援部	通年
研 究	研究•研修	・授業研究・実践に基づいた「授業力」の向上	研究部	通年
		・専門性を高めるためのチームカ、ファシリテーションカの向上を目指した研修実施	研究部	通年
		・自立活動教諭と連携した自立活動の研修(各学部・寄宿舎)、デジリハの推進	研究部	通年
センター的機	センター的機能	・個別の教育支援計画の活用(校内や関係機関との引継・連携)	支援部	通年
能		・支援会議(ケース会議)の充実。関係機関との連携推進	支援部	通年
		・地域の保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校への支援	支援部	通年
運営	コミュニティスク	・地域活動が児童生徒の学びになっているか、活動の評価者が地域の方となっているか、	総務部	各時期
	ール	地域の声が児童生徒のごほうびになっているかなど確認しながら熟議を進める		
	連携	・学舎連携の充実、情報交換と報連相の徹底	教務・舎務	通年
		気軽な授業見学、舎での活動見学(合理的な配慮をしながら)	担任•室担	4 月
		・総務部と教頭の連携(総務部メンバーに教頭)	総務部	4月
		各学部課題の連絡調整会(月2回 隔週水曜日9:30~10:00)	総務部	通年
		・各分掌の連絡調整会(月1回の開催ではなく、必要なときに開催)	総務部	時期
		・ 道内特別支援学校や地域との連携による研修、学習の推進(オンライン等)	各学部	通年
		・PTA活動の見直し、参加しやすいPTA活動	総務部	4 月
		・HP、新聞、メディア等を活用した教育活動の発信	情報教育部委員	通年
	危機管理	・危機管理マニュアルの点検・見直し・整備	会	4 月
		・個人情報取り扱いについて点検・見直し・整備	委員会	4 月
	働き方	 ・災害等に関わる実効性ある訓練の計画的実施	委員会	4 月
	服務規律	・働き方コアチームを核とした提案、各学部、寄宿舎で検討、PDCAサイクル	総務部	前期・後期
			1	1

2 寄宿舎

運営	生活指導	・個別の指導計画(PDCA サイクル)に基づいた指導の充実、生活の基礎・基本の獲得	研究部	前期・後期
		・集団生活の規律やマナーの理解、お互いを思いやる心情の育成	研究部	通年
	余暇活動	・主体的な自治活動(舎友会)の積極的推進	生活部	通年
		・地域資源を活用した余暇活動の推進、寮祭	生活部	各時期
	健康安全	・日々の健康観察、適切な処置、早期対応の確実な励行、児童生徒健康状態の情報共有	健康安全部	通年
		・服薬管理の安全徹底	健康安全部	通年
	保護者との連携	・保護者や教務との連携に基づいた情報交換と遺漏のない報連相の徹底	庶務部	通年

3 事務部

運営	会計	・財務会計の適切な処理、検査・監査等の適切な対応	事務部	各時期
		・私費会計についてのチェック	事務部	月毎
	施設	・校舎、公宅施設の保全管理	事務部	通年
	連携	・教務、舎務、事務部との連携、協働、学校の顔としての適切な窓口対応	事務部	通年

■意欲にあふれる児童生徒を育てます

児童生徒一人一人の持ち味を生かし可能性を伸ばすために「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、それに基づいて、小学部、中学部、高等部において地域に根ざした特色ある教育を行っています。

■どのようなお子さんが…

肢体不自由があるお子さんを前提として、学習指導や生活など特別な支援が必要な小学生から高校生までの児童生徒が対象です。

■どのような教育を…

●一貫した指導・支援

小学部、中学部、高等部と一貫した指導・支援の充実と、自立へ向けた基本的生活習慣の育成とともに個性の伸長、明朗な人格の育成、確かな学力を育むことを目指しています。

●「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」

生涯にわたって充実した生活を送るために、医療や福祉など関係機関との連携を大切にした「個別の教育支援計画」の策定をすすめています。また、具体的な指導にあたっては、「個別の指導計画」を基に、一人一人の教育的ニーズに応じた学習を行っています。

●自立活動

自立活動の時間に、一人一人の良さや可能性を伸ばしていけるよう、個別の指導計画に基づき、個々の目標に応じた学習課題に取り組んでいます。また、自立活動は、時間における指導だけではなく他の学習と密接な関連を保つように、計画的、組織的に指導・支援を行っています。また、病院で機能訓練を行う児童生徒が在籍していることから、医療との連携を大切にした教育を進めています。場合によっては、児童生徒が定期的に受診している医療機関やリハビリスタッフ(PT・OT・ST)と、身体の様子や指導目標、装具について等の情報交換、情報共有をしています。

●訪問教育

通学が困難な児童生徒に対して、教員が家庭や病院を訪問して教育を行っています。

●寄宿舎の教育

寄宿舎の機能には、大きく分けて「発達の保障」「生活の保障」「通学の保障」の項目があると考えています。寄宿舎では、児童生徒が集団の中で規則正しい生活を送りながら、一人一人が課題に応じた取り組みを行い、お互いに人間関係を深めてくことを目指しています。

●居住地校交流

地域に暮らす同年代の児童生徒(小学校・中学校)との交流を通じて、お互いに理解を深め、同じ地域でともに生きていくための関係を深めるために、児童生徒(小学部・中学部)や保護者のニーズに基づき交流します。お互いが、ともに地域社会の一員として豊かな生活をおくり連携を深めるための貴重な場となります。

●センター的な役割

網走地区の特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校等への教育支援や教育相談を行っています。

●積極的な連携

OPTA

児童生徒の健やかな成長を図ることを目的として、研修会、交流親睦会等の様々な活動を行っています。

○おやじの会

PTAの組織とは別に、PTAとの連携や協力を行いながら、おやじたちが余暇活動等への支援を行っています。また、子どもたちの将来についても学習しています。

○同窓会

開校以来の会で、年に一回総会・懇親会を開き、卒業生や教職員が一堂に会し交流を深めています。

○後援会

教育活動を推進するために、多くの地域の方々に応援していただいています。

教育課程

■週時程表

○小学部

時 刻	月	火	水	木	金			
8:45~9:00		登 校						
9:00		自立活動、国語・算数						
			道徳					
10:00		生活科	(係活動・着がえ・	排せつ)				
10:00~10:05			休 憩					
10:05~10:50	道徳(隔周) 自立活動 1 ~ 3/ 生活 4 ~ 6	音楽	特別活動	体育1~3/ 生活科4~6	図画工作			
10:50~10:55			休憩					
10:55~11:25	国語·算数 1~3/ 自立活動 4~6	生活科	国語·算数 1~3/ 自立活動 4~6	生活科1~3/ 体育4~6	国語·算数 1~3/ 自立活動 4~6			
11:25~11:55	自立活動	生活科	自立活動 1~3/ 国語·算数 4~6	生活科1~3/ 体育4~6	自立活動 1~3/ 国語·算数 4~6			
11:55~12:00			休憩					
12:00~12:55		糸	食(生活科・自立活動	ih)				
12:55~13:10			休 憩					
13:10~13:55	_	_	_	_	_			
	国語·算数3~6	国語·算数2~6	-	自立活動2~6	生活科4~6			
	生活科 ※5 校時がない場合は13:10~13:20							
13:20 14:05			下 校					

○中学部

畸刻	月	火	水	木	金
8:45 9:00			登 校		
9:00 9:20		国	語/学級活動(南	か 会)	
9:20 10:10			自立活動		
10:10 11:00	国語・数学	国語・数学	特別活動	国語・数学	国語・数学
11:00 12:05	職業家庭	保健体育	総合的な 学習の時間	くらし	美 術
12:05 12:55		¥	合 食(自立活	動)	
12:55 13:10			休憩	Į	
13:10 14:00	くらし	くらし	職業家庭	音 楽	特別の教科 道徳
14:00 14:15 14:00 14:20	家庭	家 庭	学級活動 帰りの会) 14:15下校	家庭	学級活動 (帰りの会) 14:15下校
14:20 14:30	学級活動 (帰りの会) 14:30下校	学級活動 (帰りの会) 14:30下校		学級活動 (帰りの会) 14:30下校	

(準ずる教育)

時刻	月	火	水	木	金			
8:45 9:00								
9:00 9:20		国語	/学級活動 (朝の	D会)				
9:20 10:10			自立活動					
10:10 11:00	国語	数学	特別活動	国 語	数 学			
11:00 12:05	技術家庭	保健体育	総合的な 学習の時間	社会	美術			
12:05 12:30		給 食(自立活動)						
12:30 13:10			休 憩					
13:10 14:00	理科	社会	理科	音楽	特別の教科 道徳			
14:00 14:15 水 14:00 14:50 水以外	数学	外国語	学級活動 (帰りの会) 14 : 15下校	外国語	理科			
14:50 15:05	学級活動 (帰りの会) 15 : 05下校	学級活動 (帰りの会) 15 : 05下校		学級活動 (帰りの会) 15 : 05下校	学級活動 (帰りの会) 15 : 05下校			

○高等部

時刻	月	火	水	木	金				
8:45		15305	登校	300000					
9:00			<u> 9 1</u> X						
9:00	-	HB							
9:25	G.	nn							
9:25		自立活動							
10:10									
			休憩	F					
10:15	職業 (1A)	題群・社会 (IA23年)	職業 (1A)	題称・社会 (IA23年)	職業 (1A)				
	国語/数学(1B)	社会/理科(1B)	数学/国語(1B)	理科/社会(1B)	数学/国語(1B)				
11:05	国語・数学(23年)		国語・数学(23年)		国語・数学(23年)				
		Y	休憩	20	22				
11:10	国語・数学(1A)	自立活動 (1A23年)	国語・数学(1A)	自立活動 (1A23年)	国語・数学(1A)				
	理科/社会 (1B)	職業 (1B)	情報 (1B)	家庭科 (1B)	社会/理科 (1B)				
12:00	職業 (23年)		職業 (23年)		職業 (23年)				
	8 0	¥	休憩	20	IŞ.				
12:05			給食(自立活動)						
12:50									
12:50			休憩						
13:05					32				
13:05	道德	美術 (1A23年) 保健体育 (1B)	保機体育 (1A23年) 音楽 (1B)	国路・数字 (IA23年) 国語/数学 (1B)	特別活動(LHR)				
13:55									
13:55	HB		HB	92	HB				
14:10	3.00		1007	0					
	14:10下核(1 A23)	休憩	14:10下校	休憩	14:10下核 (1 A23)				
14:00	外国語 (1B)	音楽 (1A23年) 美術 (1B)		総合	外国語 (1B)				
14:50				e					
14:50 15:05	15:05下校(18)	14:10下校	14:10下校 高等每会員	14:10下校	15:05下校 (18)				

○訪問教育学級(在宅)

時間	月	火	水	木	金
10:00 10:20	自立活動		自立活動		自立活動
10:20 11:00	国語・数学		国語・数学		国語・数学
11:00 12:00	自立活動		自立活動		自立活動

○訪問教育学級(施設)

時間	月	火	水	木	金
10:00 10:20	日常 生活 の指導	日常 生活 の指導		日常 生活 の指導	日常 生活 の指導
10:20	L自立 自立 活動	 自立 活動		自立 活動	自立 活動
11:00 12:00		自立活動		自立活動	

■年間授業時数

	■ 干I的技术的 数							
		日数	休業日	授業 日数	主な行事			
	4月	30	14	16	始業式、入学式、新入生・新入舎生歓迎会			
_	5月	31	11	20	舎友会総会、交通安全教室、参観日、PTA総会			
学期	6月	30	11	19	運動会、芸術鑑賞会(舎)、現場実習(高)、呼人小交流(小)			
朔	7月	31	11	20	寮祭(舎)、バス遠足(小)、宿泊研修(小)、見学旅行(小)終業式			
	小計	122	47	75				
	8月	31	29	2	始業式、同窓会			
_	9月	30	11	19	宿泊研修(中)、宿泊研修(高)、見学旅行(高)、 合同観劇、仕事体験(中)、日ハム交流			
一学期	10月	31	9	21	学校祭、買い物体験(舎)			
期	11月	30	9	21	参観日、地域参観日、現場実習(高)、企画遊び			
	12月	31	13	18	クリスマス会(舎)、肢病スポーツ大会、終業式			
	小計	153	72	81				
	1月	31	20	10	始業式、節分会(舎)			
=	2月	28	10	18	一日入学入舎説明会、中学部体験、冬の販売会(高)			
一学期	3月	31	16	15	卒業を祝う会(小・中)、3年生を送る会(高)、退舎生を 送る会(舎)、卒業式、修了式			
	小計	91	46	42				
É	計	365	166	199	小中学部、高等部新入生:198日 小中学部・高等部在校生:199日 小中学部・高等部卒業生:189日			

■日課表

○学校(例)

日課		時刻
	9:00 ~	10:00(小)
1校時	9:00 ~	9:20(中)
	9:00 ~	9:25(高)
	10:05 ~	10:50(小)
2校時	9:20 ~	10:00(中)
	9:25 ~	10:10(高)
	10:55 ~	11:25(小)
3校時	10:10 ~	11:00(中)
	10:15 ~	11:05(高)
	11:25 ~	11:55(小)
4校時	11:00 ~	12:05(中)
	11:10 ~	12:00(高)
給食指導	12:00 ~	12:55(小)
和及拍等	12:05 ~	12:50(中・高)
	13:10 ~	13:55(小)
5校時	13:10 ~	14:00(中)
	13:05 ~	13:55(高)
6校時	14:00 ~	14:50(中)
OTXINT	14:00 ~	14:50(高)
7校時	14:50 ~	15:05(中)
7 在文中了	14:50 ~	15:05(高)

○寄宿舎

日課	時刻
起床	6:20
着替え 洗面、歯磨き	6:20~
朝食	7:40
登校準備	8:15 8:45
登校	8:45 ~ 8:50 13:45
入浴 (火・木)	13:45 ~ 17:00
余暇	下校 ~ 夕食前
夕食	17:30 ~ 18:00
洗面、歯磨き	18:10
就寝準備	18:15
余暇	18:30
就寝 ※舎生の実態に	19:30 ~
即して	21:00

■学級編成

○小学部

重複学級	1年	2年	3・4年	4.5.6年	5.6年	合計
学級数	学級数 1		1	1	1	5学級

○中学部

重複学級	1・2年	2・3年	2・3年	合計
学級数	1	1	1	3学級

○高等部

重複学級	1年	2年	3年	合計	
学級数	2	2	1	5学級	

○訪問教育

重複学級	小学部	中学部	高等部	合計
学級数	0	0	1	1学級

○学級数合計

* 10,723 * 11.										
全校 ※訪問含む										
重複学級	小学部	中学部	中学部 高等部							
学級数	5	3	6	14学級						

■学年別児童生徒数

学部等		小学部								
学年	1年	1年 2年 3年 4年 5年 6年								
男	3	3	1	2	1	3	13人			
女	0	0	1	0	0	1	2人			
合計	3	3	2	2	1	4	15人			

学部等	1	合計			
学年	1年	2年	3年		
男	1	3	1	5人	
女	1	2	1	4人	
合計	2	5	1	9人	

学部等	ī	高等部	合計	
学年	1年	2年		
男	2	4	3	9人
女	3	1	0	4人
合計	5	5	3	13人

	訪問教育									
学部	学部 小学部 中学部 高等部									
学年		計		計	2年 合計					
男	0	0人	0	0人	3	3人	3人			
女	0	0人	0	0人	0	0人	0人			
合計	0	0人	0	0人	3	3人	3人			

全校	合計							
学部	学部 小 中 高							
男	13	5	12	30人				
女	2	4	4	10人				
合計	15	9	4	40人				

■寄宿舎児童生徒数

学部	小学部				中学部			高等部				合計				
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	合計	ПП
男	1	1	0	2	1	3	8人	1	3	1	5人	2	4	3	9人	22人
女	0	0	1	0	0	1	2人	1	2	1	4人	2	1	0	3人	9人
合計	1	1	1	2	1	4	10人	2	5	2	9人	4	5	3	12人	31人

■起因疾患一覧

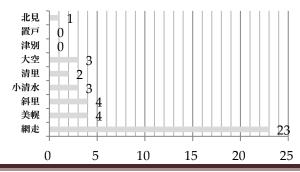


■重複障害の概要

※ 肢体不自由と重複している障害(述べ人数)



■居住地別児童生徒数 ※ 全校児童生徒数 4 0 名



卒業生の進路、学校運営組織

■中学部

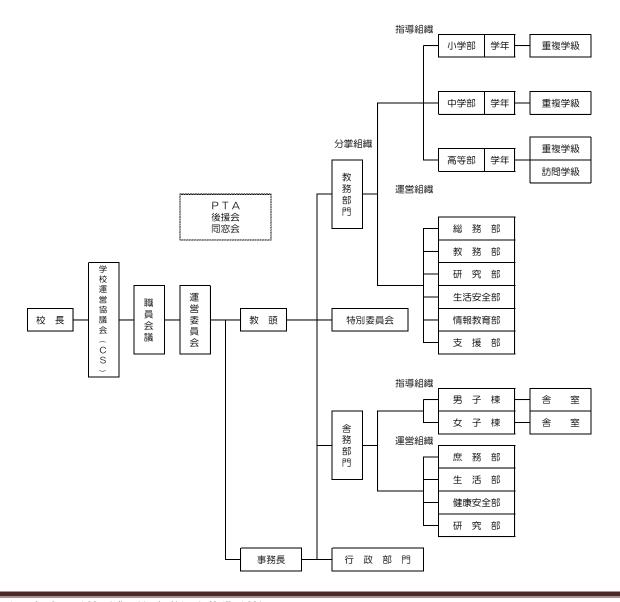
進路分	年度	令和 5年	令和 4年	令和 3年	令和 2年	令和 元年	合計
	就職	0	0	0	0	0	0
	施設	0	0	0	5	0	5
	高等養護学校	0	0	0	0	0	0
進学	本校高等部	3	4	3	2	3	15
進子	併設校高等部	0	0	2	0	0	2
	公立・私立学校	0	0	0	0	0	0
	家庭	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	合計	3	4	5	7	3	22

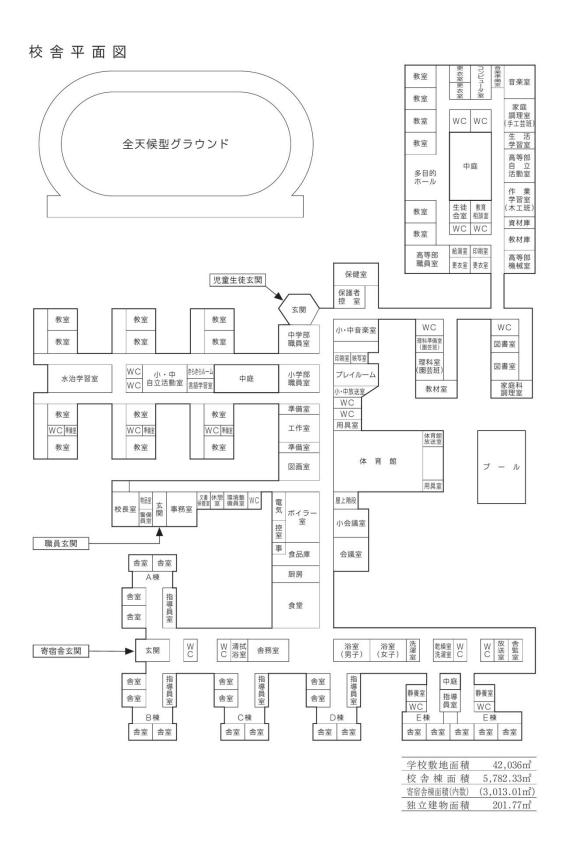
■高等部

※ 複数のサービスを利用している生徒もいるので延べ人数となります

サービスの利用形態	重症	施設	合計		日中活動の場						一般	合計	夜間		合計
年度	重症心身障害児・者施設入所	入所		生活介護	就労継続A型	就労継続B型	地域活動支援センター	就労移行支援	田中一龄	在宅(ホームヘルプなど)	般就職		グループ・ホーム	在宅・その他	
令和5年度	6	1	7	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1
令和4年度	4	0	4	2	0	1	0	0	1	0	0	4	1	2	3
令和3年度	7	1	8	3	0	1	0	0	1	0	0	5	0	5	5
令和2年度	0	0	0	4	1	1	1	1	3	0	0	11	1	7	8
令和元年度	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■学校運営組織



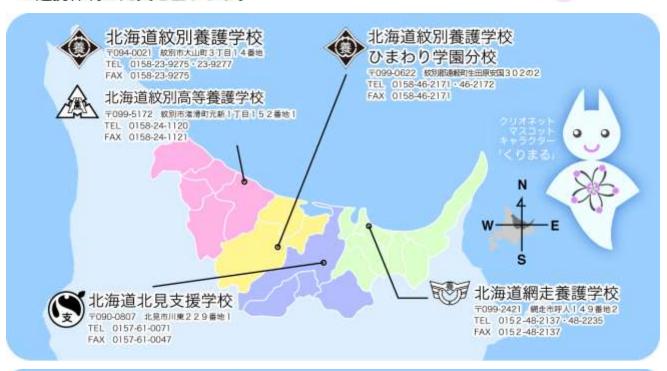




クリオネット

オホーツク特別支援教育ネットワーク

クリオネットは、オホーツク管内の特別支援学校5校のネットワークです。 オホーツク地域の特別支援教育の推進と発展に向けて、教育相談や支援機能の向上 と連携体制の充実を図ります。



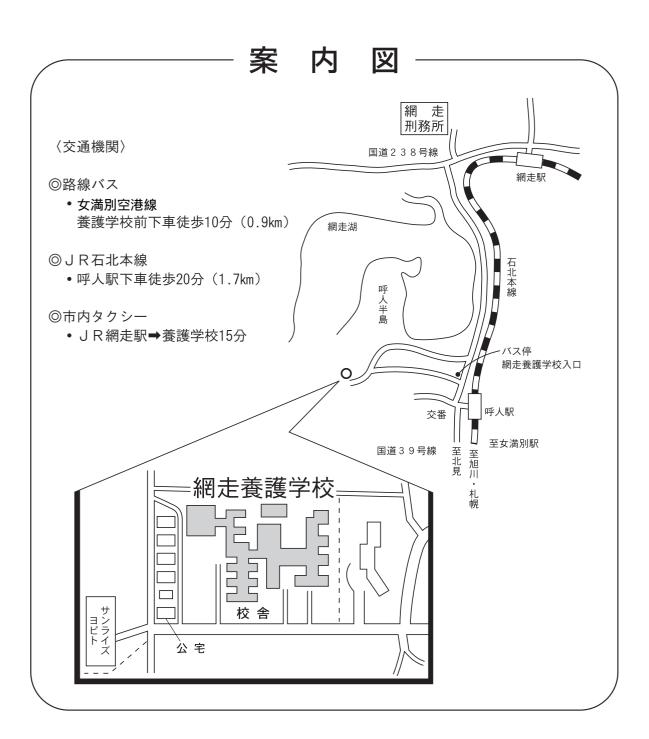
特別支援学校名	担当市町村名						
北海道紋別養護学校 北海道紋別高等養護学校	雄武町・興部町・西興部村・紋別市・滝上町						
北海道紋別養護学校 ひまわり学園分校	湧別町・遠軽町・佐呂間町						
北海道北見支援学校	北見市・訓子府町・置戸町・津別町						
北海道網走養護学校	網走市・大空町・美幌町・小清水町・ 清里町・斜里町						



教育相談のご案内

オホーツク管内 5 校の特別支援学校が連携して、一人一人の教育的 ニーズに応じた教育相談を行っています。お子さまの成長について気 になることがありましたら、お気軽に、お近くの特別支援学校にお問 い合わせください。





教育相談

本校では、就学前、小・中学校、高等学校のお子さんに関する様々な相談を受けつけています。

あらかじめ電話でお問い合わせの上、ご来校ください。

《教育相談の内容》

- 学校教育について知りたい
- 家庭での養育に悩んでいる
- 発育や発達の様子が気になる
- 専門機関に関する情報がほしい など

~ お気軽にご相談ください~

